

山麓探偵団通信

11月号

みなさんの地域での紅葉は、いかがでしょうか？

ここ、山中湖では、例年どおり旭日丘付近での、モミジ、ドウダンツツジが色づきはじめました。しかし、ケヤキ、クスノキなどの大木が、今ひとつ赤くならないように見えますので、心配しています。各地の情報をいただければ、ありがたいです。

十月の探偵団は、二十日の木曜日に、宝永山山頂に登頂し、伊豆半島を眼下に、見事な大パノラマを満喫しました。

▼探偵団参加者の感想文(その1)

山麓探偵団に参加し、宝永山へ登った。朝は曇り空。富士の宮五合目口から、ゆつくりと登山開始。登り始めは、紅葉し始めたカラマツや地面を這うように伸びている這い松、草モミジの黄色で目の保養。そこを抜けると目指す宝永山がくつきりと姿を現す。富士山頂は、依然雲の中。目標の獅子頭と呼ばれる山頂は、その風格漂う姿を天空に向かって吠えるがごとく堂々としている。宝永火口の淵から山頂へ続く登山道へ、まるで火山の動脈がむき出しになっているような岩脈が、鬼気迫る姿をさら

け出している。圧巻だった。さらに宝永山頂から火口を望むと、富士山の腹をえぐったようなそれが生命体の存在を拒絶する意思を送っているようだ。

人間の存在がとも小さく小さく見え、自然の偉大さを強烈に感じた一日だった。(H・T)



<宝永火口の中で>



▼感想文(その2)

今回、富士山の五合目から富士山の宝永山山頂までを、みんなでトレッキングしました。富士山に

は以前、頂上まで登ったのですが、今回は宝永火口の近くをトレッキングした事で、新しい富士山に出会う事ができました。富士山は本当に雄大で日本の宝だと、赤茶色の火口の淵を歩きながら、感動的な時間を過ごさせていただきました。

やさしく凜とした富士山にまた会いたいなと思わせてくれる機会を、ありがとうございました。

また、富士山の木々の紅葉が本当に美しく、日本は四季があつて素晴らしい国だなどしみじみ感じました。唐松の木は紅葉すると本当に美しいですね。

また、初対面のみなさんとも一緒に歩くことにより、仲間のようない体感が生まれて、自然の中にいると人は自然体になって、気づいたら仲良くなっているのだな！とうれしく思いました。

そして、美しい自然の中で食べるご飯は本当においしかったです。外でご飯を食べると、何故こんなにおいしく感じるのでしょうか？

お味噌汁とコーヒートみなさんのお菓子の差し入れて、元氣一杯に歩きました。ありがとうございました。

今、筋肉痛になりながら楽しかった時間を振り返っています。みなさんは筋肉痛大丈夫でしょうか？(笑) (H・Y)

◇十一月の探偵団活動ご案内

〈初冬の富士山を描く〉

今回は、自然細密画家の木村修さんと共に、少しだけ戸外に出ましよう。ふだんは、眺めたり、撮ったりするだけの富士山ですが、たまには上手下手を抜きにして、思いつき紙に写してみませんか？

- ・十一月十七日(木)二十一日(土) 午前十時にガラリエ・オム集合
- ・参加費 2300円
- ・持ち物 昼食・防寒着・敷物・マイカップ
- ・画材 エンピツHBか2B・消しゴム・スケッチブック・パレット・水彩絵の具・絵筆(大、中、小、極細)・筆洗用紙コップ。(絵の具、絵筆、紙コップはお貸しできますので、お気軽にお申し出ください。)

◎三日前までにメールか電話で、お申し込みください。

なお、次回は、十二月十五日の木曜日、戸高雅史さんを団長に、催行を予定しております。

発行 山麓探偵団 事務局
山梨県山中湖村平野一六九八
電話 〇五五五・六五・七〇二三